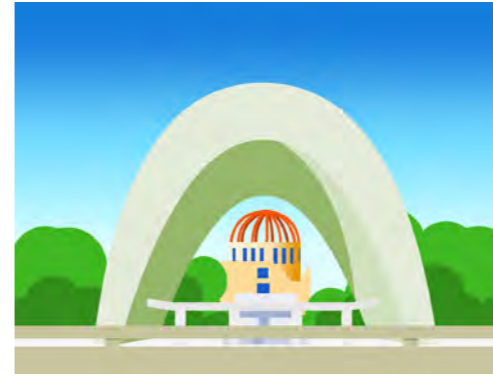


平和の尊さを 考えてみませんか

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)



10月15日号に続き、非核平和学習会に参加した小学五・六年生の感想文を紹介します。広島原爆被害や、花巻空襲に関する講座から、戦争の悲惨さや命の大切さを感じた子どもたち。今一度、平和の尊さについて考えてみませんか。

桜台小学校6年 中島愛瑚さん

私は非核平和学習会に参加して、自分たちが住んでいる花巻でも空襲があったことを知りました。広島や長崎に原爆が投下されたことは知っていたけれど、花巻市でも空襲があったことは知りませんでした。よく知っている花巻駅も被害にあったと聞いて、被害は、身近にもあったんだな、とおどろきました。多くの人が被害を受けて、とても悲しい気持ちになりましたし、ショックを受けました。この学習会に参加して、改めて、戦争や核兵器の使用は、二度とくり返してはいけないことだと感じました。今世界で、戦争をしている国があります。そこに住む人々のためにも、早く終わってほしいと思いました。戦争をしないためにも、周りの小さな争いからなくしていきたいです。

花巻市 非核平和都市宣言 (平成18年3月13日議決)

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。しかし、今なお、世界各地では悲惨な戦争があるとをたたず、また、核兵器の存在が人類の生存と平和に大きな脅威をもたらしています。私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、地球上で二度と核兵器による惨禍を繰り返さないため、その悲惨さを全世界へ訴えていく重要な役割を担っています。花巻市民は、日本国憲法の基本原理であり、人類共通の願いである恒久平和に向けて、非核三原則を遵守し、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、ここに「非核平和都市」を宣言します。

南城小学校6年 笹川輝樹さん

非核平和学習会で広島と花巻で起きた戦争について、初めて学びました。自分が生まれる前に起きた花巻空襲で、突然人が亡くなっていき、こわくてとても悲しかったです。今回の学習会の前に、平和の祈りの石碑と、爆弾投下塔の石碑、花川橋の爆弾でけずられた橋を事前に見に行ったので、分かりやすく学習できました。これからは、平和な世の中にしていけるように、花巻空襲の事を伝えていこう。夏休みの自由研究は、花巻空襲の事についてまとめて、友達や先生に知ってもらいたいです。

湯本小学校6年 西尾吏功さん

非核平和学習会で初めて知ったことの1つ目は、リトルボーイ(原爆の名前)のことです。ほくは、このことを知って「名前を聞いただけで危険そうな爆弾」だと思いました。爆弾のエネルギーの中で一番多いのが爆風で、風速は、280メートル「けたちがいだ」と思いました。二つ目は、花巻空襲でおそった爆弾が大型で計28発投下されたことです。その爆発跡の穴の大きさは直径3〜10メートル、深さ1.5〜2メートルと言われ「なんでアメリカがこんな爆弾を発射したのだろう」と思いました。他にもおどろいたことは、犠牲者がほとんどが民間人だということです。初めて知れたことがたくさんあったのでよかったです。

湯口小学校6年 平賀雪奈さん

広島に原爆が落とされたことは知っていたけれど、原爆の名前や起こったことまでは、分かりませんでした。学習して分かったことは、原爆の名前です。先生が、「広島に落とされた爆弾の名前は、リトルボーイ」と言っていました。爆弾にも名前があることを知ってびっくりしました。たった1発の爆弾で多くの人の暮らしがうばわれたことを知って、「広島の人たちは大変な思いをしたんだ。」と実際に原爆にあった人が書いた絵を見て感じました。私は、今でも原爆に重い病気で苦しんでいる人がいると聞いて、はやく病気をなおして笑顔ですごしてほしいと願っています。

矢沢小学校6年 根元晃太さん

今回の平和学習会に参加して、ぼくは、核爆弾がとておそろしいものだということと、平和であることがとてもありがたいことだと感じました。特に心に残っているのは、原爆の威力です。黒く変形した弁当箱の写真やアメリカの軍事演習の映像を見て、建物が一瞬で吹き飛び、大きなきのこ雲が現れる様子から、残こな被害をもたらすものだと感じました。また、花巻でも空襲で、多くの命が失われたことも心に残っています。これまで、広島や長崎などはなれた所で空襲があったと思っていました。身近な所で戦争が起こっていたことにおどろきました。

笹間第一小学校6年 清水優笑さん

私は、生き残った人の視点で考えました。生き残った人達は、自分だけ助かって、家族や友達、一緒に逃げていた人は、助かっていないかもしれないと考えると、幸せではないと思います。明日への希望がなく、食べ物もないので生きのびるために必死です。自分がとても大切にしているものもなくなくなってしまい、当たり前になっていることもできなくなりました。自分だったら、とてもつらくて生きたくないです。私と同じ思いの人もたくさんいたと思います。私はこれまで戦争のことをその人の身になって深く考えたことがなかったけれど今回の講座で理解が深まりました。戦争のつらい思いをくり返さないために、戦争を知らない私達が思いを共有する事が大切だと思いました。

笹間第二小学校6年 高橋舞空さん

非核平和学習会を通して、私を知ったこと感じたことは、2つあります。一つ目は、1発の原爆により沢山の命が失われたことです。二つ目は、今すぐしている毎日が、当たり前で普通ではないことです。今、ウクライナでも侵攻が起きており、日本にも避難している人が沢山いて、そういう方を見ると、「助けてあげたい」「何か力になってあげたい」と思いました。また、戦争を経験した方の話をきくと、当時の様子や状態などが想像しやすく予想などができきました。

宮野目小学校6年 佐々木希愛さん

学習会に参加し、被爆者の方のお話や映像を見て、たくさんのお話を学び感じる事が出来ました。いつもと変わらない生活をしていたはずの広島の人々がこの一瞬で変わったと思うと辛く悲しくなります。そして花巻も空襲を受けていて、戦争は遠い国や大昔の事ではないと思いましたが、被爆者は年々減少し語り継がれる機会も減っています。この貴重な経験を少しでも多くの人に伝え平和とは人に優しい気持ちを持つ事から始まり笑顔で暮らすことという言葉を忘れず、一日一日を大切に、平和の実現をめざしていきたいです。

大迫小学校5年 佐藤妃夏さん

戦争について感じたことは、戦争は二度とあってはならないということ。なぜなら、戦争で多くの人のくらしがなくなりました。アメリカ軍の原爆によってけがをした人や亡くなった人がいました。でも、核兵器は世界中にあるのでできるだけなくしていきたいと思っています。今、ウクライナとロシアが戦争をしてたくさん被害が出ているので早くやめてほしいです。こんな思いを他の誰にもさせてはならないので、日本だけでなく世界中が平和になることを願っています。



▲花巻空襲上空写真。写真下の煙が上がっているのは豊沢町周辺(アメリカ国立公文書館所蔵)

花巻空襲…米軍機は花巻駅、似内駅だけでなく、上町にも500ポンド爆弾1発を投下。これにより豊沢町を含む約7万坪、673戸の広範囲が焼失しました。



▲500ポンド爆弾の大きさは2m以上

似内駅空襲…花巻空襲と同日の昭和20年8月10日、国鉄釜石西線(当時)の似内駅でも、列車にめがけて爆撃と機銃掃射がされました。爆弾が直撃した三両目の客車の被害は甚大で、乗客5人が即死、4人が重軽傷を負いました。

この惨劇を忘れないために建立された碑が似内駅近くにあり、亡くなられた乗客5人の名前と平和の祈りが刻まれています。



▲平和の祈り碑(似内駅近く)

※掲載文は、非核平和学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋(原文ママ)です。全文は、市ホームページ(<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/hanamakicity/hikakuheiwa/1002440.html>)に掲載しています

